

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2026/10/12 ~ 2026/10/18

発令中の 警報／注意報	県全体	〈警報〉		インフルエンザ		〈注意報〉	
		警 報	中 部 保 健 所 ： インフルエンザ				
			南 部 保 健 所 ： インフルエンザ	八 重 山 保 健 所 ： インフルエンザ			
			北 部 保 健 所 ： インフルエンザ	手足口病			
			那 覇 市 保 健 所 ： インフルエンザ				
		注 意 報	中 部 保 健 所 ： なし				
			宮 古 保 健 所 ： インフルエンザ				

デング熱について

デング熱は、デングウイルスによる感染症で、主に熱帯・亜熱帯地域で流行しています。日本では海外の流行地域で感染し、帰国後に発症する例が多く報告されています。

感染経路

デングウイルスを持つ蚊（ネッタイシマカやヒトスジシマカなど）に刺されることで感染します。通常、人から人へ直接感染することはありません。患者を吸血した蚊が別の人を刺すことで、感染が広がる可能性があります。

潜伏期間と症状

感染してから症状が現れるまでの期間は2～14日（多くは4～10日）です。突然の発熱、頭痛、目の奥の痛み、筋肉痛、関節痛、発疹などがみられます。多くは1週間程度で回復しますが、まれに出血やショックなどを伴う重症例になることがあります。

予防方法

予防の基本は「蚊に刺されない」「蚊を増やさない」ことです。屋外では長袖・長ズボンを着用し、虫よけ剤を適切に使用しましょう。また、蚊は植木鉢の受け皿、バケツ、空き容器などにたまった少量の水でも発生します。家の周囲を定期的に確認し、不要な水たまりをなくしましょう。

まとめ

海外の流行地域へ渡航する際は、滞在中の蚊対策を心がけましょう。帰国後に発熱や発疹などの症状が現れた場合は、早めに医療機関へ相談し、受診時には渡航先や滞在期間を伝えてください。日頃から身近な蚊対策を行うことが、デング熱の予防につながります。

■ 感染症の発生動向 1 類～5 類（全数把握）

		県全体	うち中部
1 類	なし	0	0
2 類	結核	4	0
3 類	腸管出血性大腸菌	0	0
4 類	レジオネラ症	2	2
5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0
	梅毒	3	0

■ 感染症の定点当たり報告数

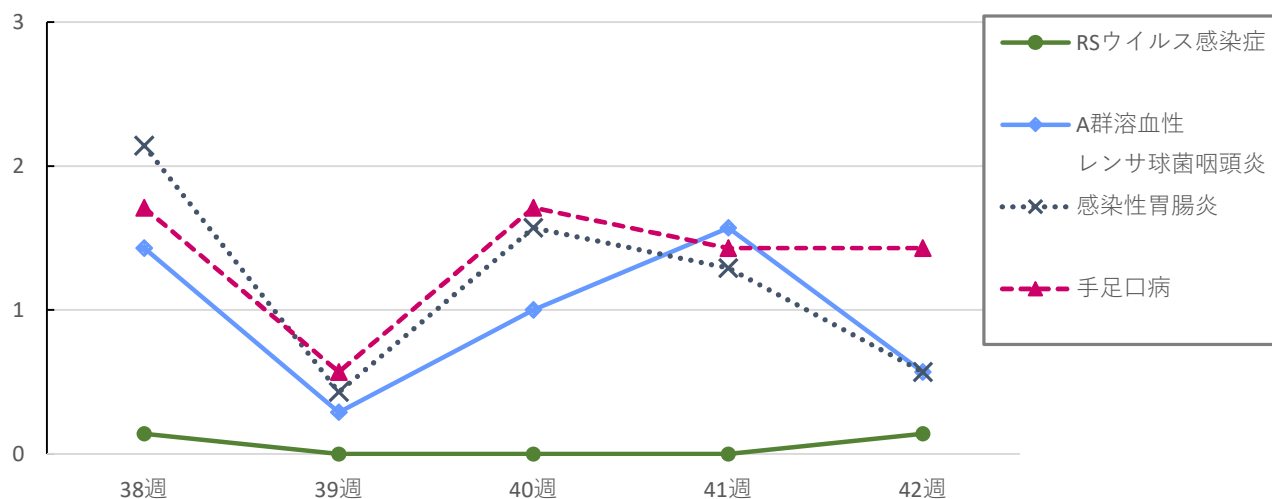
※直近 5 週間で報告された感染症のみ

	38週		39週		40週		41週		42週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	28.54	26.3	25.77	42.5	38.77	37.07	35	31.34	23.23	19.68
RSウイルス感染症	0.14	0.38	0	0.21	0	0.21	0	0.17	0.14	0.21
咽頭結膜熱	1.29	0.67	0.29	0.08	0.86	0.42	0.14	0.25	0.43	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.43	1.25	0.29	0.33	1	0.75	1.57	1	0.57	0.88
感染性胃腸炎	2.14	5.04	0.43	4.08	1.57	4.79	1.29	4.42	0.57	4.08
水痘	0.57	0.17	0	0.17	0.29	0.13	0	0.04	0.29	0.21
手足口病	1.71	2.13	0.57	1.04	1.71	1.29	1.43	1	1.43	0.96
伝染性紅斑	0.14	0.04	0.14	0.04	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	0.71	0.38	0	0.17	0.29	0.25	0.71	0.46	0	0.25
ヘルパンギーナ	0	0.29	0	0.21	0.14	0.63	0.14	0.54	0	0.08
流行性耳下腺炎	0	0.04	0	0.08	0	0.13	0.29	0.21	0	0.04
流行性角結膜炎	0.5	2.67	0.5	2.56	0.5	2.22	0	1.67	0.5	2.67
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	0	0	0	0.14	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0	0	0	0	0.29
COVID-19	1.62	2.16	1.08	1.77	0.62	1.27	0.69	1.11	0.92	0.95

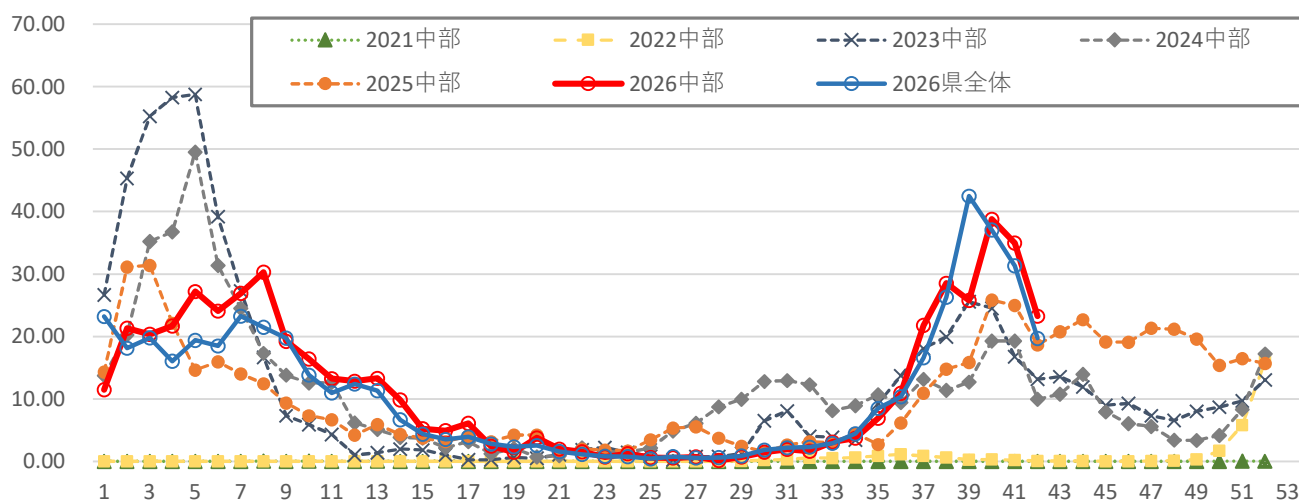
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

